

# 台風時の高潮災害に対する対応

平成 27 年 12 月 京都大学防災研究所監修



## 目次

### 防災の基礎

- ・ 持ち出し品と備蓄品 1
  - 非常持ち出し品
  - 家庭に備えておくもの
- ・ ライフライン寸断への備え 3
  - 電気
  - 水道
  - ガス
  - 通信
- ・ 避難について 4
  - 避難情報の種類とその内容
- ・ 家族で話し合うべき事項 5
  - 集合場所・避難場所・避難ルート
  - 連絡方法
  - 近所の災害時避難行動要援護者への対応

### 台風について

- ・ 台風とは 6
- ・ 日本への接近数とコース 6
- ・ 気象情報の入手 7
  - 台風の進路予報
  - 暴風域に入る確率
- ・ 海象情報の入手 9
  - 潮汐の予報
  - 過去の顕著な高潮について
- ・ 高潮の生じるメカニズム 11

- ・ 高潮による被害 12
- ・ 台風時の風の吹き方と高潮 14

## 高潮への対策

- ・ 平常時 15
  - 家屋・家具・設備などの点検・対策
- ・ 台風接近時 17
  - 屋外で行う対策
  - 必要な物の買い出し
  - 家の中での対策
  - いつ避難するか？ 判断の目安
- ・ 台風通過中 20
  - 外に出ない
  - 窓が割れた場合
- ・ 台風通過後 21
  - 吹き返し・吹き戻し
  - 家屋
  - 電線
  - 保険

## 地図・連絡先など

- ・ 避難所 22
- ・ 情報の入手 23
  - 情報入手先
- ・ 連絡先 24
  - 関係機関連絡先

## 持ち出し品と備蓄品

### ➤ 非常持ち出し品

.....  
以下は大人2人分の目安です。できるだけ軽いほうがよく、男性は15kg、女性は10kg程度になるようにしましょう。

少なくとも年に一度は点検し、古くなっているものは交換しましょう。

家とは別に車の中にも準備しておくといはいいです。  
.....

#### □ 非常持ち出し袋（リュックサックなど、両手が自由に動かせるもの） 2個

- ・ 救急袋
  - 毛抜き 1本
  - 消毒液 1本
  - 脱脂綿 適当量
  - ガーゼ(滅菌) 2枚
  - ばんそうこう 10枚～
  - 包帯 2巻
  - 三角巾 2枚
  - マスク 2枚
  - 常備薬・持病薬など 適当量
- ・ トイレットペーパー 1ロール
- ・ ウェットティッシュ 2個
- ・ 現金・小銭(公衆電話用) 適当量
- ・ ガムテープ(布製) 1個
- ・ 油性マジック 1本
- ・ 筆記用具 1セット(個人や家庭の事情に合わせて準備する)
- ・ その他
- ・ 缶入り乾パン(110g) 2缶
- ・ 飲料水(500ml ペットボトル) 6本
- ・ 懐中電灯 2個
- ・ ローソク 2本
- ・ ライター 2個
- ・ 携帯ラジオ 1台
- ・ アーミーナイフ(十徳ナイフ) 1本
- ・ 軍手・手袋 2双
- ・ ロープ(5m～) 1本
- ・ レジャーシート 1枚
- ・ サバイバルブランケット 2枚
- ・ 簡易トイレ 2枚～
- ・ タオル 4枚～
- ・ ポリ袋 10枚

## ➤ 家庭に備えておくもの

.....  
 自宅で避難生活を送る際や、避難所への避難後に少し余裕が出てから自宅へ戻って持ち出すためのものです。3日間程度自足するつもりで備えましょう。  
 .....

- ・ 飲料水(2リットル入りペットボトル)
- ・ 非常用給水袋
- ・ アルファ米
- ・ 乾パン
- ・ インスタントラーメン
- ・ 缶詰類
- ・ レトルト食品
- ・ スープ
- ・ 味噌汁
- ・ ビスケット
- ・ キャンディ
- ・ チョコレート
- ・ 塩
- ・ 上着
- ・ 下着
- ・ 靴下
- ・ タオル
- ・ バスタオル
- ・ 毛布
- ・ 雨具
- ・ 予備電池
- ・ 卓上コンロ、ガスボンベ
- ・ 固形燃料
- ・ やかん、鍋
- ・ ラップ
- ・ アルミホイル
- ・ 皿、コップ(紙・ステンレスなど)
- ・ 割り箸、スプーン、フォーク
- ・ 歯ブラシ
- ・ 石鹸
- ・ ドライシャンプー
- ・ 携帯電話の充電器
- ・ 新聞紙
- ・ 使い捨てカイロ
- ・ 安全ピン
- ・ ブルーシート
- ・ ガムテープ(布製)
- ・ 保温ポット
- ・ スリッパ、上履き
- ・ その他

## ライフライン寸断への備え

.....  
台風によって各種ライフラインが寸断されたときのための備えも重要です。  
一般に、電気や電話は水道やガスよりも早く復旧することが多いです。  
.....

### ➤ 電気

- ・情報源として、電池式のラジオを準備する、または携帯電話やパソコンを充電しておく。
- ・光源として、懐中電灯と予備の電池を用意しておく。（水道が止まっている場合、光源に火を使うことは危険）
- ・冷蔵庫はもっとも強い設定にしておく。
- ・暑い時期は熱中症対策に保冷材などを用意しておく。

### ➤ 水道

- ・1人あたり9リットル（1日3リットル×3日分）の飲料水と、それとは別に風呂おけに水をためておく。
- ・ペットボトルに水を入れ冷蔵庫で凍らせておく。

### ➤ ガス

- ・ガスボンベ式の卓上コンロや、火を通さなくても食べることのできる非常食を用意しておく。

### ➤ 通信

- ・避難を要するような大規模な台風災害発生時には、災害用伝言ダイヤル171が開設されます。これを利用して家族や親戚、知人などの安否確認をすることができます。

## 避難について

避難にはできるだけ早期からの自主的な行動が必要です。暴風域に入る可能性がある時（台風最接近のおよそ2日前）には気象・海象情報をこまめに確認する必要があります。また、暴風域に入る直前（台風最接近のおよそ1日前）には気象・海象情報に加えて、避難情報、交通情報を確認する必要があります。これらの情報をふまえて避難するか自宅で備えるかを家庭内で決めておきましょう。災害が発生する恐れがある場合は、あらかじめ指定された避難所が開設されます。その際には、広報車巡回、各区の放送などによる連絡があります。ただし、荒天時には聞こえない可能性もありますので、防災行政無線の取得できる受信機を用意しておくのがよいでしょう。自治体が発表する避難情報には、以下の3種類があります。避難指示が出たタイミングでは既に災害が発生している可能性がありますので、実際には避難ができないかもしれません。その場合は自宅もしくは周辺の高層階へ避難してください。

### ➤ 避難情報の種類とその内容

種類	目的	発令時の状況
避難準備情報	状況によっては避難勧告や避難指示を行うことが予想されるため、避難のための準備を呼びかけるもの	・避難行動に時間を要する者（避難行動要支援者）が、避難行動を開始しなければならない段階であり、災害の発生する危険性が高まった状況
避難勧告	住民に立ち退きを勧め促すもの	・通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階であり、災害の発生する可能性が明らかに高まった状況
避難指示	災害の危険が切迫した時に発令されるもの	・災害の前兆現象の発生や現在の切迫した状況から災害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ・災害が発生した状況

## 家族で話し合うべき事項

.....  
 災害が発生したとき、必ずしも自宅にいるとは限りません。

いざというときのために普段から家族で話し合い、その内容のメモを目に付く場所に貼り、手帳に書いて持ち歩くなどするとよいでしょう。  
 .....

### ➤ 集合場所・避難場所・避難ルート

自宅の最寄りの避難所を確認し、そこまでの安全な避難ルートを確認しておきましょう。実際に歩いてみて、危険な箇所がないか探してみることも大切です。

### ➤ 連絡方法

災害時には電話がつながらなくなることも多いです。そのような際には、災害用伝言ダイヤル171にメッセージを残すなど、あらかじめ対応を決めておくことで安心です。以下の期間には体験利用することができるので、その機会に合わせて家族での話し合いの場を設けるのもよいでしょう。

- 毎月1日, 15日 00:00~24:00
- 正月三が日 (1月1日 00:00~1月3日 24:00)
- 防災週間 (8月30日 9:00~9月5日 17:00)
- 防災とボランティア週間 (1月15日 9:00~1月21日 17:00)

右の期間は伝言ダイヤルを試すことができます。

### ➤ 近所の災害時避難行動要支援者への対応

お年寄りや障害のある人など、災害時に避難する際などに周りの助けを必要とする人は近所にいないでしょうか。普段からコミュニケーションをとり、いざというときどのような助けが必要なのかを知っておく／伝えることが大切です。防災用品の備えに対してもお手伝いしてあげましょう。また、避難に際しては十分な余裕をもった行動が必要になります。

# 台風について

## 台風とは

台風とは、熱帯の海上で生まれた熱帯低気圧のうち、最大風速（10 分間平均）が 17m/s 以上のものを指します。台風は回転する巨大な空気の渦巻きで、下層では上から見て反時計回りに中心に向かって空気が吹き込みながら上昇し、上層では時計回りに噴き出しています。台風の高さは、発達したもので約 15km です。

## 日本への接近数とコース

台風は年平均で 26 個発生していて、そのうち平均で 3 個が日本に上陸しています。また、上陸しなくても平均で約 11 個の台風が日本から 300km 以内に接近しています。冬や春先に日本付近に接近してくる台風はほとんどありませんが、夏になると台風が発生する緯度が高くなり、図 1 のように太平洋高気圧のまわりをまわって日本に向かって北上する台風が多くなります。7 月や 8 月は太平洋高気圧の勢力が強く、また、台風を流す上空の風がまだ弱いために不安定な経路をとることが多いですが、9 月以降になると南海上から U 字を描くように日本付近を通るようになります。このため、日本に大きな災害をもたらす台風は 9 月に来ることが多いです。

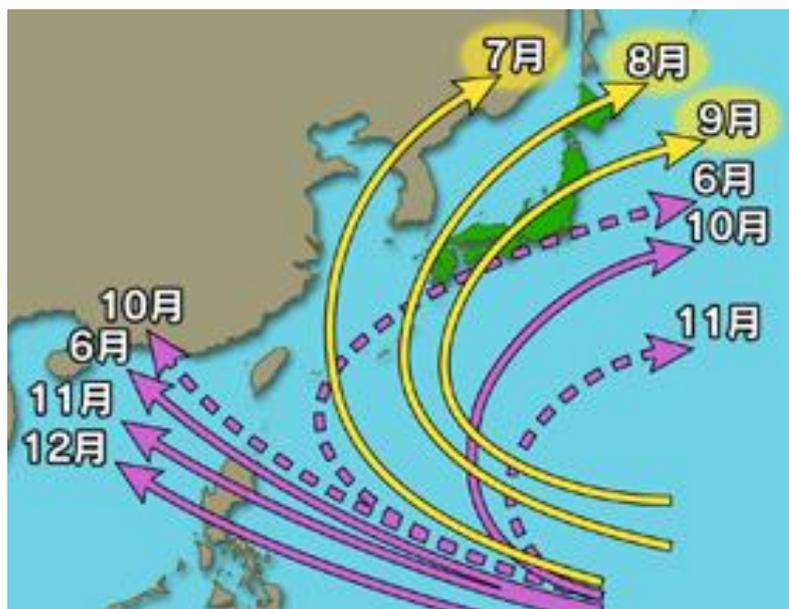


図 1 日本に接近する台風の月ごとの主なコース  
([http://tenki.jp/docs/note/typhoon/page\\_3.html](http://tenki.jp/docs/note/typhoon/page_3.html))

## 気象情報の入手

### ➤ 台風の進路予報

台風が発生し日本に近づくと予想されるとき、気象庁は1時間ごとにその位置を解析し、3時間ごとに24時間先までの進路予測を行い、6時間ごとに72時間先までの進路予測を行います。

これらの最新情報は、気象庁HPの「台風情報」(<http://www.jma.go.jp/jp/typh/>)で入手することができます。

台風について

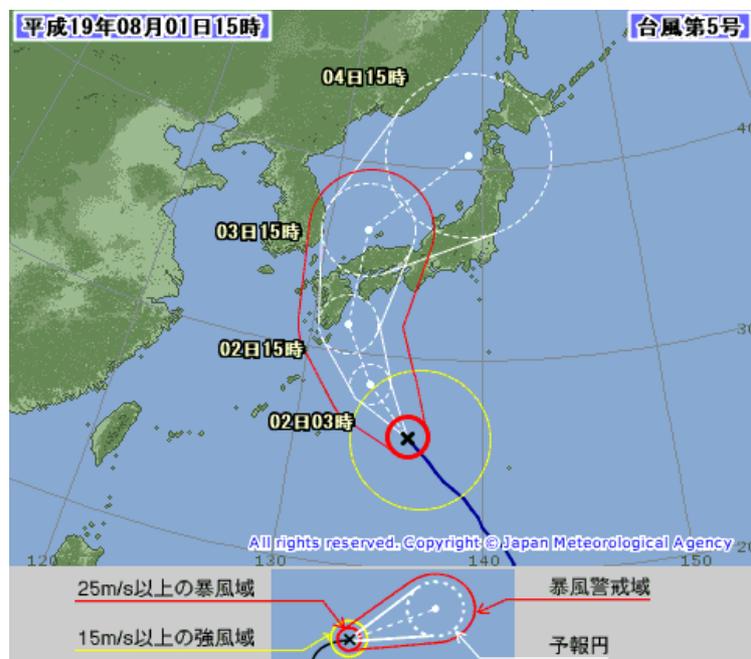


図2 台風の進路予報の例

([http://www.jma.go.jp/jma/ki\\_shou/know/typhoon/7-1.html](http://www.jma.go.jp/jma/ki_shou/know/typhoon/7-1.html))

- ・ x印 : 現在の台風中心位置
- ・ x印を中心とした赤色の円 : 現在の暴風域 (平均風速 25m/s 以上)
- ・ x印を中心とした黄色の円 : 現在の強風域 (平均風速 15m/s 以上)
- ・ 白破線の円 : 予報円 (70%の確率で台風の中心が入る範囲)
- ・ 予報円の外側の赤色の線 : 暴風警戒域 (暴風域に入るおそれのある範囲)

## ➤ 暴風域に入る確率

気象庁は、72時間以内に台風の暴風域に入る確率が0.5%以上である地域に対して、市町村等をまとめた地域ごとに「暴風域に入る確率」を発表します。

これは気象庁HPの「暴風域に入る確率（地域ごと時間変化）」

([http://www.jma.go.jp/jp/typh/typh\\_wstorm.html](http://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_wstorm.html)) で入手できます。

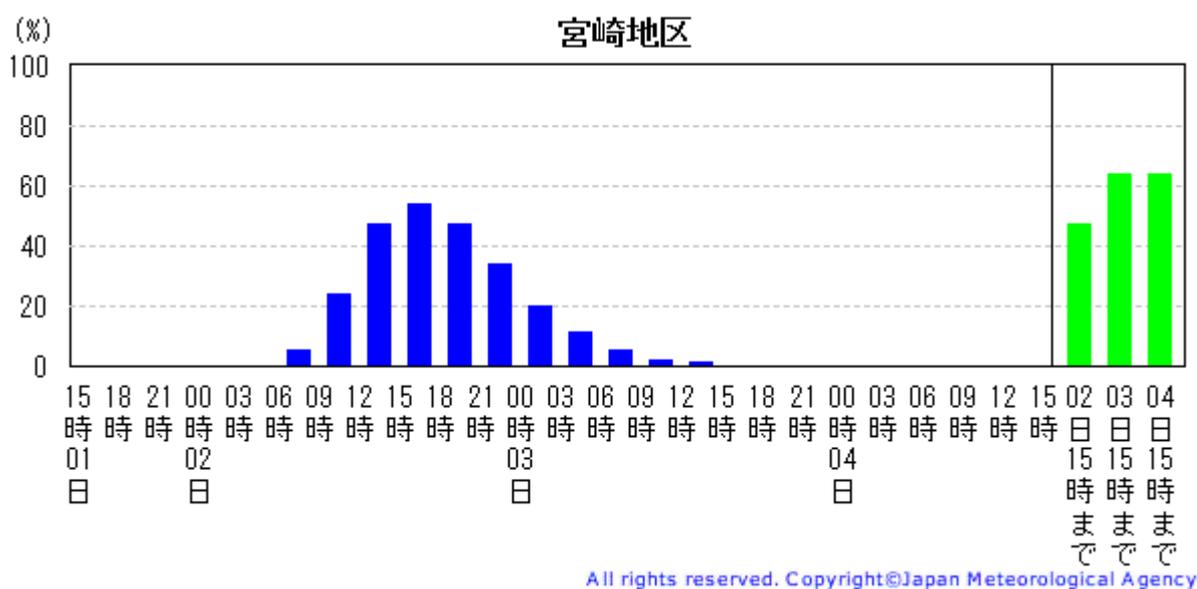


図3 「台風の暴風域に入る確率」の例

(<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/typhoon/7-1.html>)

## 海象情報の入手

### ➤ 潮汐の予報

台風が最接近する時刻が満潮時刻と重なれば、高潮によって上昇した水位とあいまって被害は拡大します。気象庁では毎時刻の潮位を予測して公開しています。台風が最接近する予想時刻と潮位の変化の対応を確認しておきましょう。ただし、公開されているのは高潮がないと考えた時の潮位変化（天文潮位）であることに注意してください。

天文潮位の予測結果は、気象庁 HP の「潮位表」（<http://www.data.jma.go.jp/kaiyou/db/tide/suisan/>）で入手することができます。

台風について

国土交通省  
気象庁  
Japan Meteorological Agency

キーワードを入力し検索ボタンを押下ください。  
POWERED BY YAHOO! JAPAN

ホーム 防災情報 各種データ・資料 知識・解説 気象庁について 案内・申請

ホーム > 各種データ・資料 > 海洋の健康診断表 > 潮汐・海面水位のデータ > 潮位表 > 潮位表 八代

潮位表 八代(YATSUSHIRO)

● 解説

熊本市 八代市 港町

緯度: 32° 31' N  
経度: 130° 34' E  
潮位表基準面の標高: -

表示地点: 八代 表示期間: 2014年 4月 25日 ~ 2014年 4月 26日

潮位表基準面表示  満潮・干潮  毎時潮位(グラフ)  毎時潮位(表)

各項目を入力してクリック

八代は潮位表基準面表示のみご覧になれます。



図4 潮位変化の表示例

## ➤ 過去の顕著な高潮について

気象庁 HP の「各年の潮汐」 (<http://www.data.jma.go.jp/kaiyou/db/tide/gaikyo/nenindex.php>) のページでは、各地点で観測された顕著な高潮の観測値を参照することができます。お住まいの地域の最寄り地点における過去の事例を参考にしてください。ここで、最大潮位偏差とは天文潮位を引いた高潮による水位上昇を意味し、最高潮位とは天文潮位+高潮による水位上昇を意味します。

国土交通省  
気象庁  
Japan Meteorological Agency

キーワードを入力し検索ボタンを押下ください。  
POWERED BY YAHOO! JAPAN

ホーム | 防災情報 | **各種データ・資料** | 知識・解説 | 気象庁について | 案内・申請

ホーム > 各種データ・資料 > 海洋の健康診断表 > 潮汐・海面水位のデータ > 各年の潮汐

### 各年の潮汐

#### 2006年の三角の高潮

最大潮位偏差		最高潮位		要因
(cm)	起時	(標高、cm)	起時	
119	9/17 20:38	216	9/17 20:27	2006年9月16-18日の台風第13号による最大

\*が付けられている場合は、該当期間に欠測があったことを示しています。

表示する年、種類、地点を選択してクリックしてください。  
潮汐概況、副振動、顕著な高潮は全地点表示も可能です。「全地点表示」ボタンを選択してください。

表示年 2006年 ▼

全地点表示  地点名 三角 ▼

津波(全地点表示のみ)

潮汐概況

副振動

顕著な高潮

各項目を入力してクリック

- 潮汐概況を1地点のみで表示させた場合、その年の1～12月の各月の統計値と年の統計値が同時に表示されます。
- 副振動を全地点で表示させた場合、その年の最大の振幅の副振動が表示されます。

図5 過去の顕著な高潮の表示例

## 高潮の生じるメカニズム

高潮は気圧の低下による海面の吸い上げと、風による吹き寄せによって生じる海面の上昇です。つまり、中心気圧が低く風速の大きな強い台風ほど高潮による海面の上昇は大きくなります。しかし、同じ強さの台風であっても、進行経路によって海面上昇量は大きく変化しますし、台風が接近した際の天文潮位が高い場合には、危険性が高くなります。

台風について

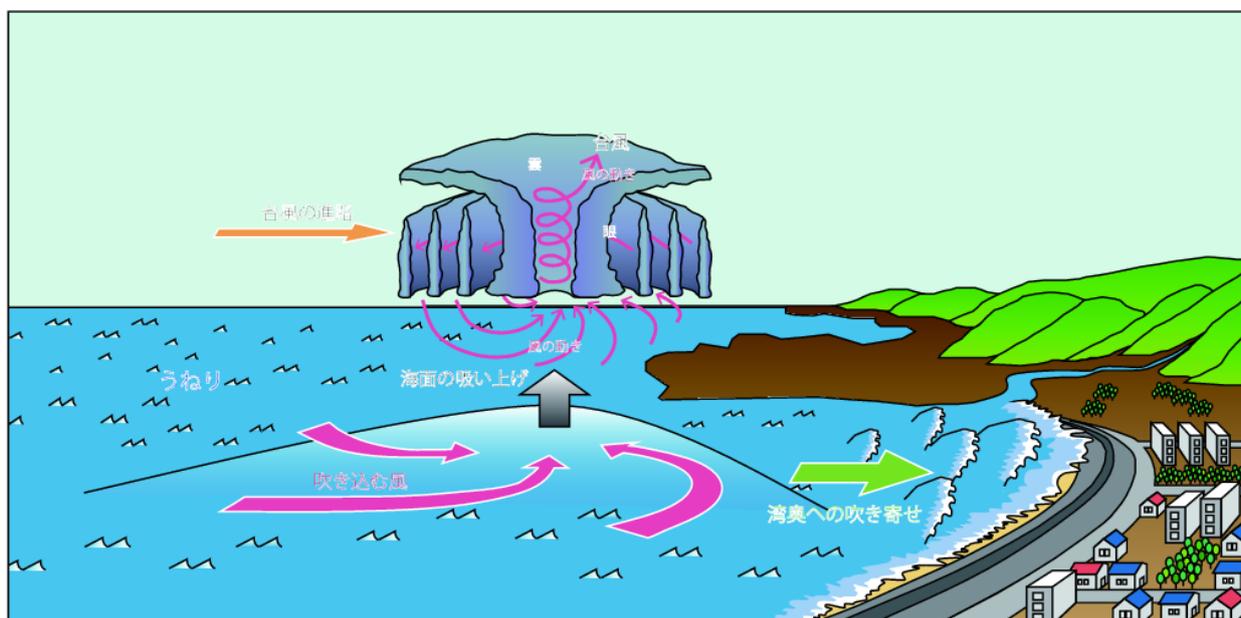


図6 高潮発生メカニズム

## 高潮による被害

主な高潮の被害としては、浸水によって人命が奪われる、建物が破壊される、または家財が流失・損失する、あるいは漂流物が衝突するといった直接的な被害があります。また、直接的に浸水被害は受けていなくても、二次災害による影響が広範囲に及ぶことがあります。例えば道路や上下水道、港湾などのインフラ設備が被災した場合には、一時的に普段の生活を送ることができません。堤防を越えた海水による浸水ではなく、海面の上昇によって排水できなくなった下水道からの氾濫（内水氾濫）もあります。また、発電所や変電所が被害を受けた場合は停電が生じることもあります。直接の浸水はなくとも、風によって飛来した高波の飛沫や、地下に浸透した海水によって塩害も発生します。また、大規模な油の流出が生じた場合には海上火災が発生する危険もあります。



越流による浸水被害



地下施設への浸水



漏電火災による家屋焼失



マンハッタンの大停電

図7 高潮による被害の例（2012年ハリケーン サンディ）

高潮による被害は、堤防を越えて陸地に水塊が押し寄せるといって津波のそれとよく似ています。両者の違いは、①津波の発生する周期よりも高潮の発生する周期の方が短く、場合によっては同じ年に複数回の高潮を経験する可能性があるということ。②突然発生する津波と比べて、高潮の場合は危険が認識されてから災害が発生するまでの時間が長く、避難以外にも対策をとることが可能であるということ。ただし、③高潮の場合には台風が接近する際に強い雨風を伴うので、河川氾濫や内水氾濫、地すべり、飛来物などによる被害への注意も必要であるということです。



2011年 東北地方太平洋沖地震 津波



1999年 台風18号 高潮（宇城市）

図8 津波と高潮の被害の類似

## 台風時の風の吹き方と高潮

台風による風は、一般に進行方向右側の地域のほうが左側よりも強くなります。このため、台風の右側は危険半円と呼ばれます。危険半円が最寄りの海域に重なるように移動した際に、高潮は最も大きくなります。つまり、高潮の大きさは台風の進路によって大きく変化します。「これまでの台風はたいしたことはなかったので大丈夫」と油断しては、避難のタイミングを遅らせます。

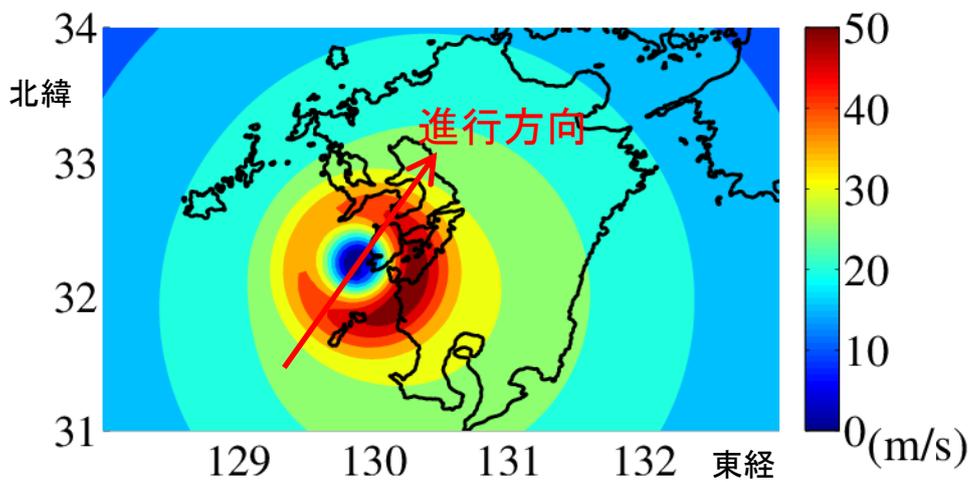


図9 台風の風速分布

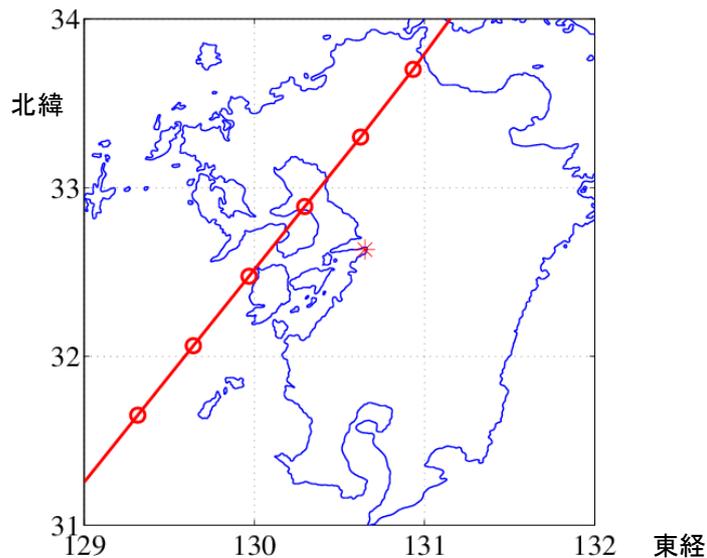


図10 不知火海において高潮が大きくなる台風進路の例

## 高潮への対策

### 平常時

以下の項目は、常時、あるいは少なくとも台風シーズン前までには点検しておきましょう。災害を受けやすい土地では、小規模であっても必ず過去に似たような被害を受けているものです。被害が小さい間に何らかの対策を講じることが肝心です。災害時の危険箇所を見つけたら、みんなで対策を考えましょう。

#### ➤ 家屋・家具・設備などの点検・対策

- あなたの住んでいる地区で過去に生じた水害の歴史を調べましたか。地名に水害の危険性を読み解くヒントがある場合もあります。
- 水は低い土地に集まります。あなたのお住まいは周辺の土地に比べてどうでしょうか。
- あなたの地区の洪水・高潮のハザードマップを確認しましたか。
- 近くに住む災害時要援護者（高齢者、障害者、乳幼児、妊婦、傷病者、日本語が不自由な外国人）が住んでいませんか。
- 側溝や排水溝にゴミや落ち葉などが詰まっていないか。危険と思う箇所は事前に役所に届け出ておきましょう。
- ひざ下くらいの浸水であれば、土のうで食い止めることもできます。土のうの備蓄はありますか。（土のうが無い場合は、水のうで代用もできます）
- 貴重品類やコンセントなどの濡れると困るものは高い場所に置いてありますか。
- 非常用の持ち出し品は用意していますか。

マンホールや用水路など、避難時に大変危険となる箇所について事前に調べていますか。

気象情報や交通情報、雨量や河川水位の入手方法は事前に調べていますか。

## 台風接近時

### ➤ 屋外で行う対策

屋外で行う対策は、台風の暴風域に入る恐れのある前日の明るいうち（進路予報図の見方は9ページ参照）に行いましょう。

屋根の上で作業する場合は、風だけでなく雨への注意も必要です。

水に浸かると使えなくなるものは屋内に収納するか、安全な場所へ移動させる。押し寄せてくる水は泥水や海水であることにも注意する。

- ・ 植木
- ・ 自転車
- ・ 自動車 など

戸口付近には土のうを準備しておく。浸水の恐れが出た段階では避難を考えましょう。

洪水で流されたものが堰き止められることによって水はけが悪くなり、被害を助長することが無いように、不要なものは片付けるか、流されないように対処する。

### ➤ 必要な物の買い出し

天候が悪くなってからは、出来るだけ外に出ないようにするため、必要な物の買い出しは早めに済ませておきましょう。

非常持ち出し品・備蓄品を点検し、不十分なものを買い足す。

★懐中電灯などライフラインへの対策グッズの点検も忘れずに！

その他日常的に必要な食材等も買っておく。

## ➤ 家の中での対策

家の中では、主に窓への対策と、ライフラインが止まった時のための対策をしておきましょう。

- 窓や雨戸、シャッターを閉める。
- ガラス窓のサッシの上下の溝に、細長く折り畳んだ古新聞を詰める。  
★ガラスに吹き付けた雨が溝から室内に吹きこむのを防ぐ。
- 気象情報や交通情報、避難情報をこまめにチェックする。特に高潮は台風進路の影響を強く受けます。
- インターネットを使える場合は、気象庁などの速報や降雨レーダーの情報、国土交通省や自治体のホームページで雨量や河川水位の情報をリアルタイムで知ることができます。
- 浸水の恐れがある地域では、家具や電化製品などを高い場所へ移動する。
- パソコンなど濡れると困る物は、ビニール袋や防水シートでくるみ、窓のない、あるいは、風が窓に直接当たらない部屋に移動しておく。
- 携帯電話やノートパソコンなど、充電できるものは充電しておく。
- 非常持ち出し品を点検する。
- そのままでも食べられるパンやおにぎりを準備しておく。
- 空いたペットボトルや、やかんなどに飲料水をいれる。風呂おけやたらいなどに水を溜めておく。
- 水を入れたペットボトルを凍らせておく。冷蔵庫は“最も冷たい”設定にする。
- 半地下、地下室には近寄らない。
- トイレや浴室、洗濯機などの排水溝からの泥水の逆流を防ぐために、水のうによるおもしろが有効です。

## ➤ いつ避難するか？ 判断の目安

避難に時間のかかるお年寄りなどは、気象情報に注意して、早めに避難することが必要です。天候が悪化してからの避難は大変危険です。また、膝上まで浸水すると自力での避難は困難になります。避難所への避難が困難と思われる場合は、高層階の建物へ避難してください。また、既に浸水が始まっている場合、車での避難は避けましょう。避難途中のトラブルによって車道を塞いでしまった場合、優先すべき避難行動要支援者の避難を妨げる事にもなります。

避難したり、対策をしても空振りに終わることもあります。しかし、それは損ではありません。大げさ、用心すぎる？と思うほどの行動でないと、経験したことのない規模の災害は防げません。危険を感じてから動いたのでは、できることは限られてしまいます。空振りを恐れず、予行演習だと思って試しに避難してみよう、というくらいの心づもりが必要です。

避難情報の種類と意味については4ページを参照してください。

## 台風通過中

### ➤ 外に出ない

台風から身を守る一番の方法は、家から出ないことです。前ページまでのような対策は早めに行い、天候が悪くなってから外の様子を見に行くようなことは絶対にやめましょう。また、建物の中ではなるべく窓から離れた場所にいるようにしましょう。

### ➤ 窓が割れた場合

- ・ ガラスの破片に注意する

台風時のケガで最も多いのは、ガラスの破片によるものです。もしガラスが割れてしまった場合は、屋内でも靴を履いて行動しましょう。

- ・ 反対側の窓やドアを少し開ける

割れた窓から吹き込んだ風による風圧で屋根が吹き上げられることを防ぎます。

## 台風通過後

台風通過後の安全確認や復旧作業の際は、安全のため長袖・長ズボン・靴（サンダルなどは×）・あればヘルメットを着用しましょう。また、以下のような点に注意しましょう。

### ➤ 吹き返し・吹き戻し

- ・台風の際、強かった風が一度おさまっても、再び強まることがあるので、風が弱まってからしばらくの間は、引き続き警戒しましょう。

### ➤ 家屋

- ・落下物や倒壊の危険がないか調べる。あれば、直ちに補強や除去を行う。
- ・家の中の風通しをよくし、乾燥させる。
- ・一度水に浸かった屋内配線等は漏電の危険があり、使用前に必ず安全点検。
- ・灯油や農薬など危険物の漏出がないか調べる。
- ・浸水の被害にあったら  
床下や家の周囲に石灰をまいて消毒する。建物や家具なども消毒する。  
飲料水の煮沸、手の消毒など、衛生管理に注意する。  
★浸水後は、悪臭や汚れが残るほか、伝染病が発生するおそれがあります。  
保健所などの指示をもとに、衛生面に注意しましょう。

### ➤ 電線

- ・断線した電線が家屋等に触れていないか調べ、もしあれば電力会社に連絡。  
★断線した電線には絶対に触れないこと！ 感電死の危険もあります。

### ➤ 保険

- ・被害の状況が分かるように、写真などで記録しておきましょう。
- ・強風による被害は火災保険で補償される場合があります。被害にあったら自分の入っている保険を確認し、補償されるかどうか保険会社に尋ねましょう。

## 地図、連絡先など

### 避難所

台風が接近しているとき、強い風が吹き始めてから、避難するのは大変危険です。最寄りの避難所を確認しておき、避難の必要がある際には早めに避難してください。また、安全な避難ルートも確かめておきましょう。



地図・連絡先など

避難所	所在地	電話番号

## 情報の入手

### ➤ 情報入手先

#### ・インターネット

警報や注意報、台風情報、気象レーダー、解析雨量、降水短時間予報など、気象庁が発表している情報は、気象庁ホームページで閲覧できます。

URL : <http://www.jma.go.jp/>

また、民間の気象会社のホームページでも、情報を手に入れることができます。

#### ・テレビ・ラジオ

警報や注意報の発表状況は、テレビやラジオを通じて知ることもできます。また最近では、それぞれのテレビ局が作製しているデータ放送で情報を入手することもできます。（データ放送の詳細については、各テレビ局にお問い合わせ下さい）

#### ・携帯電話

国土交通省防災情報提供センターの携帯電話用サイトからも、防災気象情報を閲覧することができます。

URL : <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

掲載しているもの : 気象警報・注意報、気象情報、気象レーダー、気象ナウキャスト など

## 連絡先

### ➤ 関係機関連絡先

内 容	施設名	所在地	電話番号
被害がでたら	役所		
道路の不通	警察署		
ケガ、救助	消防署		
停 電	電力会社		
水が出ない、 漏れている	水道局		
ガスが出ない、 漏れている	ガス会社		
病 気	かかりつけの病院		

